

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2023年12月3日（第1版）

承認番号	23140
課題名	造影 CT におけるヨード造影剤による副作用の出現状況と要因
研究期間	西暦 2024 年 1 月 29 日（実施許可日）～2025 年 12 月 31 日
研究の対象	2021 年 4 月～2023 年 10 月に旭川医科大学病院で造影 CT を受けた方のうち造影剤使用直後から CT 室退室前までの間に副作用が出現した方
利用予定日	開始日 2024 年 2 月 1 日
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	<p>CT で使用されるヨード造影剤は、投与により急性（即時性）副作用が生ずることがあります。その症状は、軽度の蕁麻疹や悪心から心停止に至るまで様々で、その発生機序は不明な点が多く、また、発生を確実に予知、予防する方法は存在しないと言われていています。しかし、危険因子（副作用が出やすい可能性がある病気や状態など）は学会の提言などで広く周知されています。</p> <p>旭川医科大学病院では、問診票を用いた直前問診を実施し、少しでも副作用に繋がる情報がないか確認しています。</p> <p>そこで、今回、過去にヨード造影剤使用時の急性副作用の出現状況と副作用が出現した患者さんの背景や造影剤の種類、リスク因子を明らかにすることで、今後のヨード造影剤使用直前問診の精度の向上に繋がられるのではないかと考えました。</p>
研究の方法	造影剤の副作用が出現した患者さんの電子カルテなどから造影剤の副作用に関連する可能性のある情報（年齢・性別・副作用の症状とその対処・使用した薬剤に関すること・CT 前の問診で確認した内容など）を調査し、項目ごとに比較します。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>研究責任者：旭川医科大学病院 看護部 看護師：平 千亜紀 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号 電話番号 0166-69-3433 (CT・MRI 受付)</p>